

役職・職位 教授
氏名 杉浦 絹子

■ 学歴

1. 長野県看護大学大学院博士後期課程修了

■ 学位

1. 博士（看護学）

■ 研究分野

1. 助産学
2. 母性看護学
3. 生涯発達学

■ 研究キーワード

1. 知的障がい
2. 意思決定
3. 支援
4. 妊産婦
5. 親
6. 育児

■ 研究課題

1. 知的障害のある女性への周産期保健医療現場における意思決定支援
2. 知的障害のある妊産婦・親への支援

■ 担当授業科目

1. 母性看護学概論
2. ウィメンズヘルス
3. 基礎助産学 I
4. 助産管理学
5. 助産学研究演習
6. 子育て支援論
7. 助産診断・技術学演習 VII
8. 人間関係とコミュニケーション
9. 助産管理学実習

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【助産学概論】</p> <p>本科目では、助産の基盤となる知識を教授するとともに、助産に関連する最新トピックスを提示し、グループ討議および全体討議の時間を多く設けた。自分とは異なる意見や考え方を知るとともに自分の考えについて振り返る機会となっていた。口頭およびリアクションペーパーにて質問・意見・感想をフィードバックしてもらい、質問については次の授業時に回答した。</p>
2.	<p>授業科目名【助産学研究演習】</p> <p>Evidence-based practice の重要性と研究と理論との関係性、助産学研究の目的と意義を教授したうえで、臨床の助産師の倫理審査における仮想事例を題材として、助産実践における課題を臨床研究に繋げる過程および研究倫理について考えるグループ討議および全体討議の時間を設けた。その後、各学生の関心に基づく研究テーマについて研究計画書およびオンライン開催学会のオンデマンド発表を想定した研究計画発表会用のスライドを作成してもらった。</p>
3.	<p>授業科目名【母性看護学概論】</p> <p>本科目は看護師国家試験受験のための必修科目であり、2年生前期での開講である。母性看護に関連する最新の統計的データや最新のトピックスの動画等視聴覚教材を多く用いた。また、実際の患者の語りや体験談を示すことで、興味・関心を促すとともに、看護の場面を具体的にイメージできるよう工夫した。</p>
4.	<p>授業科目名【子育て支援論】</p> <p>PBL として、指定した公共性のある web 上の情報から乳幼児を育児中の親が抱く子育てに関する疑問や悩みとそれらに対する子育て支援の専門家の回答を調べ、発表・討議する時間を設けた。また、全国の子育てしやすい自治体ランキングで上位にある自治体の子育て支援策（「伴走型相談 支援 事業」と「出産・子育て 応援給付金給付事業」）について調べ、発表・討議する時間を設けた。</p>
5.	<p>授業科目名【助産管理学実習】</p> <p>PBL として、実習要項および実習オリエンテーションにおいて事前に提示した助産管理に関する学習項目について各実習施設の実際を実習中に主体的に調べ、発表資料およびスライドを作成して発表し、全体で共有する機会を設けた。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2001年3月～現在	日本看護科学学会	
2.	2007年4月～現在	日本助産学会	専任査読者（2019年～現在）
3.	2005年4月～現在	日本母性衛生学会	
4.	2013年4月～現在	日本看護倫理学会	
5.	2011年9月～現在	川崎医療福祉学会	
6.	2023年10月～現在	International Consortium of Research on Parents and Parenting with Disabilities	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
(著書)					
1.	2024年2月	助産師基礎 教育テキスト 助産概 論・母子保健 2024年版	分担執筆	日本看護協会出 版会	杉浦絹子 (分担) B5版全 p293 中、第 5章2 諸外国のお産の歴史 p153-158、3 お産と文化 p159-177
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.	2023年10 月	保健師が知 的障害のあ る母親へ行 なっている 配慮	共著	第64回日本母 性衛生学会学術 集会	杉浦絹子、藤澤和子
2.	2023年10 月	知的障害者 を対象とし た母子健康 手帳省令様 式の難しい 語彙とわか りやすいリ ライト	共著	第64回日本母 性衛生学会学術 集会	藤澤和子、杉浦絹子
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外	交付決定額 (単位：円)

			者	
1.	知的障害のある親への乳幼児の育児支援方法の検討 2021年度～2023年度	日本学術振興会	○ <u>杉浦絹子</u> 、(藤澤和子)	416万円
2.	知的障害者の妊娠出産育児支援のためのわかりやすい母子健康手帳と支援ツールの開発 2021年度～2024年度	日本学術振興会	(○藤澤和子)、 <u>杉浦絹子</u>	403万円

(2) 個人研究

	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2013年～現在	(公社)全国助産師教育協議会	資格・専門能力委員会委員長
2.	2023年6月～2023年10月	2023年度こども家庭庁母子保健指導者養成研修 3-4 (オンデマンド)	講師
3.	2023年9月	2023年度西南女学院大学シニアサマーセミナー	講師

■ 学内における活動等 (役職、委員、学生支援など)

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～2024年3月	運営会議	
2.	2023年4月～2024年3月	点検評価改善会議	
3.	2023年4月～2024年3月	教学マネジメント会議	
4.	2023年4月～現在	入試会議	